

中央アルプス登山者向けに山岳遭難防止を呼びかけます

長野県では過去最悪だった昨年を上回るペースで山岳遭難が発生しており、中央アルプスにおいては、直近で23件の遭難が発生しています。このため、朝夕の気温低下や早まる日没など「秋山」特有の留意点等の情報提供とともに、登山計画書の提出を呼びかけます。

日時

令和7年**10月11日**（土）午前4時30分～7時まで

場所

菅の台バスセンター 駒ヶ岳ロープウェイ行きバス乗り場（長野県駒ヶ根市赤穂）

実施機関

中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会、上伊那地域振興局

内容

○安全登山の情報提供

- ・秋山登山の留意点（早まる日没、朝晩の気温低下、天気急変）、必要な装備、ルート情報

○登山計画書の提出呼びかけ

- ・届出状況に係るアンケート調査の実施

[参考]山岳遭難発生状況（1月1日～12月31日） ※R7は10月5日現在

区分	中央アルプス		全県	
	発生件数	遭難者数	発生件数	遭難者数
R7※	23	25	325	358
R6	22	24	321	350
R5	20	23	302	332
R4	17	18	284	310
R3	19	19	257	276
R2	10	11	183	198

・R7遭難の特徴：約半数が60代以上の高年齢層。体力、技量、準備不足によるものが多い。

